

山武市総合計画審議会 会議録

| | | |
|-----------|---|--|
| 会議名称 | 令和元年度第1回山武市総合計画審議会 | |
| 開催日時 | 令和元年8月23日(金) 開会：午後1時30分 閉会：午後3時10分 | |
| 開催場所 | 山武市役所第5会議室 | |
| 議長氏名 | 金子 光委員 | |
| 出席者氏名 | 別添「出欠者名簿」のとおり (18名) | |
| 欠席者氏名 | 小関 俊夫委員、蕨 健吉委員 (2名) | |
| 事務局氏名 | 別添「出欠者名簿」のとおり | |
| 会議事項 | <p>次 第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. 市長あいさつ 4. 委員・職員の紹介 5. 会長及び副会長の選出 6. 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 山武市総合計画の進行管理について (2) その他 7. その他 8. 閉 会 | <p>会議結果</p> <p>6</p> <p>(1) 原案により決定</p> <p>(2) 原案により決定</p> |
| 会議経過 | 別添「会議経過」のとおり | |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第1回山武市総合計画審議会 次第 ・【資料】山武市総合計画後期基本計画 平成30年度施策・基本事業評価結果 ・【参考1】山武市総合計画後期基本計画の達成状況[令和元年8月現在] ・【参考2】山武市総合計画条例 ・【参考3】山武市総合計画審議会運営要綱 ・【参考4】山武市総合計画審議会 委員名簿 | |
| その他必要事項 | 署名委員の指名 佐久間 一栄委員 岩澤 佐智子委員 | |
| 会議録の確定 | | |
| 確定年月日 | 署名委員 | |
| 令和2年3月31日 | 佐久間 一栄 | |
| | 岩澤 佐智子 | |

(会議経過)

| 発 言 者 | 発言内容 ・ 意見 |
|--------|---|
| 石橋総務部長 | <p style="text-align: right;">【1時30分】</p> <p>【1. 開 会】 大変お待たせいたしました。定刻になりましたので、ただいまより、令和元年度第1回山武市総合計画審議会を開催させていただきます。 私は、本日の司会を務めさせていただきます総務部の石橋と申します。よろしくお願いいたします。 本日は、お忙しい中、ご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。 それでは早速ですが、お手元の次第に基づきまして進めさせていただきます。</p> |
| 石橋総務部長 | <p>【2. 委嘱状交付】 次第の2、委嘱状の交付でございます。 審議会の委員の皆様へ、総合計画審議会委員として委嘱状を交付させていただきたいと思っております。本来であれば、市長からお一人ずつ直接お渡しをさせていただきたいところですが、時間にも限りがございますので、各委員のお手元にお配りをさせていただいております。委嘱期間といたしましては、本日令和元年8月23日から令和3年の3月31日までとなります。よろしくお願いいたします。</p> |
| 石橋総務部長 | <p>【3. 市長あいさつ】 それでは、次第の3、市長からご挨拶を申し上げます。 では市長、よろしくお願いいたします。</p> |
| 松下市長 | <p>皆様、こんにちは。松下でございます。 本日はご多用の中、本審議会にご臨席を賜りまして、まことにありがとうございます。御礼を申し上げさせていただきます。 先ほど、総合計画審議会委員の委嘱状を、机上配布という形で交付をさせていただきました。これから総合計画に基づくまちづくりを進めていく上で、本審議会にはその進行、管理を担っていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。 また、まちづくりの最上位の計画である総合計画でございますが、山武市が合併を機に策定した第1次総合計画は、昨年度末で11年間の計画期間が終了いたしました。このことに伴いまして、平成29年度、平成30年度の2年間を通して総合計画審議会でご審議をいただき、委員の皆様方からご意見やアイデアをいただきまして、第2次山武市総合計画を策定することができました。 本日は、第2次総合計画を策定してから初めての審議会になります。事務局から、第1次総合計画の評価結果を報告させていただきますので、多分野になろうかと思いますが、皆様方から忌憚のないご意見を賜りたくお願いを申し上</p> |

| | |
|---------------------------|---|
| <p>石橋総務部長</p> | <p>げます。</p> <p>よりよい山武市のまちづくりに向けて、有意義な審議の場となることをご期待申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきたいと思います。</p> <p>本日は、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>【4. 委員・職員の紹介】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の4、委員・職員の紹介でございます。</p> <p>委員の皆様の紹介でございますが、私からお名前を読み上げさせていただきますので、その際は、恐縮でございますが、自席にてご起立のほうをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、事前に配付をしてございます委員名簿の順に紹介をさせていただきますと思います。あわせてご覧いただきたいと思います。</p> <p>(委員名簿順に紹介)</p> <p>以上、20名の方に、今回、総合計画審議会の委員をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、職員の紹介をさせていただきます。副市長から順に、自己紹介をお願いいたします。</p> <p>(寺澤副市長から順に自己紹介)</p> |
| <p>石橋総務部長</p> <p>戸村委員</p> | <p>【5. 会長及び副会長の選出】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第に戻りまして、5、会長及び副会長の選出に入るところでございますが、その前に、本日の出席状況を報告申し上げます。</p> <p>本日の審議会でございますが、事前に配付をさせていただいております山武市総合計画審議会運営要綱第3条第2項で、「審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定しております。本日は、委員総数20名に対しまして現在17名、この後、小山委員がいらっしゃれば18名の出席をいただいておりますので、過半数を超えておりますので、会議は成立することをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、会長及び副会長の選出でございますが、本審議会運営要綱第2条第1項に、「審議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する」とございます。</p> <p>それでは、本件につきまして、決し方に案がある方がいらっしゃればお願いをしたいと思います。なお、発言の際には必ず挙手の上、お名前を述べてから発言されるようお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>青少年育成市民会議の戸村です。</p> |

| | |
|---------------|--|
| | <p>大変恐縮ではございますが、事務局の案がございましたら、ご提案をいただければと思います。よろしくお願いします。</p> |
| <p>石橋総務部長</p> | <p>はい、ありがとうございます。 ただいま戸村委員から、事務局に案があるかというご発言がございました。事務局から案を発表させていただいてよろしいでしょうか。 (「問題なし」の声あり)</p> |
| <p>石橋総務部長</p> | <p>ありがとうございます。 それでは、事務局からお願いいたします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>事務局の案ということですので、事務局案を申し上げます。 第2次総合計画策定を契機に、平成29年度から、山武市総合計画審議会が常設化されまして、本年度から初めて、進行管理に関する審議をしていただくこととなります。そのため、今回は、策定時の会長を務めていただきました、慶応大学上席所員であります金子光委員、それと、副会長を務めていただきました、さんむエコノミックガーデニング推進協議会会長であります大高衛委員に、引き続きお願いできればと考えてございます。 以上、事務局案としてご提案を申し上げます。</p> |
| <p>石橋総務部長</p> | <p>ただいま、事務局から発表いたしました案としましては、会長に金子委員、副会長に大高委員とのことでございます。 皆様、こちらでご賛同いただけますでしょうか。 (拍手)</p> |
| <p>石橋総務部長</p> | <p>ありがとうございます。 それでは、承認をさせていただきたいと思います。 それでは、恐縮でございますが、この後の議事につきましては、本総合計画審議会運営要綱第3条第1項に基づきまして、「会長が会議の議長となる」と定められております。金子委員、大高委員につきましては、会長席、副会長席にそれぞれお移りいただきまして、一言ずつご挨拶をいただければと思います。ご移動をお願いいたします。</p> |
| <p>金子会長</p> | <p>皆さん、こんにちは。ただいま会長を仰せつかりました金子と申します。よろしくお願いします。 委員の方々が9名新しくなられ、約半分がかわられたということで、簡単に自己紹介と、今後の抱負のようなことを述べたいと思います。 まず、自己紹介としましては、大学で研究・教育をやっていて、公共政策や財政学という分野で研究をしまして、実務的なこととしては、いろいろな</p> |

自治体でこういうようなお仕事をさせていただいております。

山武市との関わりにつきましては、今から7年ほど前からご縁がございまして、行政改革推進委員会で7年ほどお世話になって、その間、まちづくり報告書の「有識者の知見」という項目があるのですけれども、そちらを毎年執筆させていただいております。

この総計審につきましても、前回からお世話になっておりまして、大分、私も山武市に愛着が生まれてきまして、最近、「好きな食べ物は？」と聞かれたら、「苺（山武市の）」というふうに答えるのですけれども、それぐらい愛着が今、湧いてきているところであります。

今回、会長に選んでいただいたということで、何で私なのかなと私なりに解釈して考えてみますと、おそらく、この中で私が一番若い世代の部類で、しかも、山武市在住ではない外部の人間が会長を務めることの意義は何かと考えたときに、この町の年配で大御所の、そういう方が会長になられて、何か上意下達式に審議会を進めるよりも、もっと委員会の皆さんが自由闊達に意見を言える場が必要じゃないかと。そこで、私のような若輩の者が会長になることで、逆に皆さんの意見が出やすいのではないかとというふうに考えております。

もう一つ、これから長期的な視点でものを考えていく必要があるときに、外からの視点というか、中では気づかない何かヒントが必要なのかなということと外部の、しかもこういう私のような存在が、逆にこの審議会の活性化につながればいいなという思いで務めさせていただきたいというふうに思っています。

1つ小ばなしというか、お話をさせていただきますと、8年前の東日本大震災で津波があったにもかかわらず、死者、行方不明者が一人も出なかった村がありまして、何で出なかったかという、その村の村長が30年前に防潮堤を建てたそうです。そのとき、30年前は、ものすごい反発があったにもかかわらず、その村長は将来の子供たちを守るためということで防潮堤を建てたと。そのときものすごい反発を受けた結果、その村長は次の選挙で落選をするのですけれども、30年経って、東日本大震災で死者が出なかったということで、今、町で英雄のような存在になっていると。

これを考えたときに、今生きている市民とかではなくて、これから生まれてくる子や孫の世代のことも考えた上で政策決定というのは必要なのではないかとというふうに考えていまして、そういった長期的な視点で考えられるような議論をこの審議会ですればいいなというふうに考えております。どうぞよろしくお願いします。

(拍手)

ありがとうございました。

続いて、大高委員からお願いいたします。

石橋総務部長

| | |
|--------|--|
| 大高副会長 | <p>それでは、先ほど会長からお話がありましたので、私のほうからは手短に。前回に引き続きまして、副会長を仰せつかりました大高でございます。よろしくお願いいたします。金子会長をお支えするとともに、皆様方と活発な議論をしながら、山武市の将来に向けていい時間が過ごせますことを心から願っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(拍手)</p> |
| 石橋総務部長 | <p>【6. 議事】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、議事に移りたいと思います。</p> <p>本審議会運営要綱に基づきまして、金子会長に議事の進行をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> |
| 金子会長 | <p>それでは、早速ですが、議事を進めてまいりたいと思います。</p> <p>会議に先立ちまして、山武市総合計画審議会運営要綱第4条に、「会議録を作成し、その経緯、結果について、出席委員のうちの、議長が指名する2人が署名しなければならない」と定められております。こちらにつきましては、委員名簿の順に各回順番をお願いしたいと思います。</p> <p>では、昨年度からの署名の状況を踏まえまして、大変恐縮ですが、佐久間委員、岩澤委員の2人をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、本審議会終了後、会議の結果は会議録としてまとめ、市ホームページ等で公開する予定となっております。各委員には後日、事務局から会議経緯について確認依頼があると思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に従い、6、議事に入らせていただきます。</p> <p>(1) 山武市総合計画の進行管理についてとなりますが、事務局から資料に基づいて説明いただきたいと思います。その後、この議題に対する質疑応答を行うという形で議事を進めていきたいと思っております。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>それでは、議事の(1)山武市総合計画の進行管理についてということで、私、岩澤のほうからご説明をさせていただきます。</p> <p>山武市総合計画は、平成20年度からスタートいたしまして、20年から24年度までを前期総合計画、25年度から30年度までを後期基本計画と位置づけまして、まちづくりを進めてまいりました。平成29年度には、第2次山武市総合計画を策定するために総合計画審議会を組織いたしまして、2年間の審議を経て、平成31年3月に第2次総合計画が策定され、本年4月より新たに計画をスタートしたところでございます。</p> <p>また、第2次総合計画から総合計画審議会を常設化いたしまして、計画策定のほか、進行管理についても行っていただくことといたしました。本日の会議</p> |

は、その進行管理の初めての会議となります。

今年度につきましては、評価結果の報告をさせていただくのは、後期基本計画の最終年度となります平成 30 年度の施策と基本事業の評価結果となり、後期基本計画を総括した評価となります。評価結果について、委員の皆様からご意見をいただきまして、これからのまちづくりに活かしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

初めに、今回新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、山武市の総合計画の構成や特徴について簡単にご説明をさせていただきます。こちらについては、第 2 次総合計画においても前計画の構成、特徴を引き継いでおりますので、第 2 次総合計画の冊子を用いてご説明をさせていただきます。

お手元、机の上に配付をさせていただいてあります青い冊子、第 2 次山武市総合計画の冊子の 8 ページをお開きください。

こちらには、3、総合計画の実現に向けてとして、(1) 行政経営 (P D C A) サイクルに基づく計画策定・進行管理についての説明を記載してございます。総合計画は、図の中心の三角形に示しているように、計画の上位から、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の 3 つから構成をされています。山武市では、総合計画の進行管理に、平成 20 年度の総合計画の開始当初より、行政経営サイクル、「計画、実行、評価、改善」という P D C A のサイクルによる行政評価の考え方を取り入れています。

続いて、隣の 9 ページをご覧くださいと、(2) 成果指標に基づく進行管理の方法ということで、説明をしております。行政評価の考え方を取り入れた山武市の総合計画の特徴といたしましては、「施策」、「基本事業」、「事務事業」のそれぞれの各階層に、目指す姿の達成度を数値であらわす物差しとして成果指標を設定し、施策や事業の達成度を、市民にわかりやすく見える化していることです。

本日は、このうちの基本計画を構成する施策と基本事業について、後期基本計画の最終年度である平成 30 年度の評価結果の報告をさせていただきます。

それでは、ご覧いただきます資料は、表紙の右上に四角で囲って「資料」とあります「山武市総合計画後期基本計画 平成 3 0 年度施策・基本事業評価結果」と表紙に書いてある分厚いホッチキス留めの資料となります。お手元にご用意をお願いできますでしょうか。

表紙をめくっていただきまして、1 ページをご覧ください。

資料の見方の説明も兼ねまして、一番初めにございます政策 01「暮らしを支える快適なまちづくり」、施策 01「道路網の整備・充実」についてご説明をいたします。

まず、各施策の最初のページには、施策を取り巻く環境変化と課題について記載をしています。

ページをめくっていただきまして、2 ページ目には、施策・基本事業成果指標の一覧という記載をしてございまして、施策と、その施策にある基本事業の

成果指標について、平成 29 年度と 30 年度の実績、そして、対前年度の状況を一覽で記載しています。対前年度の評価区分は、向上及びやや向上の横ばいが晴れマーク、やや低下の横ばいが曇りマーク、低下が雨マークというふうな表示をさせていただきます。比較ができないものについては、「—」といった表示をさせていただきます。

続いて、隣の 3 ページ目が施策のページとなっております。施策の成果状況と評価を記載させていただきます。施策 01「道路網整備・充実」の成果指標といたしましては、市道整備状況の満足度を設定しております。計画の目標値になりますめざそう値は 66.7%と設定させていただきます。評価の状況といたしましては、30 年度の市道整備状況の満足度は 59.2%で、基準値と比較いたしまして 3.1 ポイント減少し、後期めざそう値を達成できませんでした。原因といたしましては、計画されている幹線道路及び生活道路の整備は順調に進んでいますが、一部の事業において、完成している部分が供用開始に至っていないことや、利用頻度の比較的低い道路への要望に対し事業着手に至らないことなどが、満足度低下の要因と考えられます。また、市内多くの道路施設は更新時期を迎えており、老朽化が見た目で感じられる状況も一つの要因と思われます。

評価欄の右側には、指標値の動きをグラフで示しています。達成状況といたしましては、めざそう値を達成できませんでしたので、(低)という評価としています。

達成状況については、(達成)、(高)、(中)、(低)という 4 段階で評価を行っております。

ページをめくっていただきまして、4 ページ目には各施策の基本事業について、施策と同様に成果状況と評価を記載させていただきます。

以上が、一つの施策についての評価結果の構成となっております。5 ページ以降、政策・施策順に記載をさせていただきます。

それでは、各政策から評価結果が(達成)となったものと、達成できずに(低)となったものについて、いくつかご説明をさせていただきます。

ページをめくっていただきまして、14 ページをご覧ください。

基本事業が 4 つ並んでいるうちの、上から 3 つ目、施策 03「防災・消防対策の充実」の、基本事業 02「災害支援体制の確立」の成果指標、災害協定件数(累計)です。こちらは、政策 01 で(達成)となったものでございます。30 年度の災害協定件数(累計)は 44 件で、基準値と比較して 26 件増加し、後期めざそう値を達成しました。災害協定につきましては、災害時に必要な人的・物的資源が明らかになったことでその必要性が認識され、協定件数が増加したことによるものです。

続いて、ページをめくっていただきまして、28 ページをご覧ください。

こちらは、政策 02「住みやすい環境と安全なまちづくり」となります。上から 2 つ目、施策 01「生活環境の充実」の、基本事業 04「航空機騒音等の対策」の成果指標、航空機騒音対策に対する満足度です。こちらは、政策 02 で(達成)

| | |
|----------------|---|
| <p>小川（真）委員</p> | <p>となったものでございます。30年度の航空機騒音対策に対する満足度は78.6%で、基準値と比較して5.9ポイント増加し、後期めざそう値を達成しています。こちらについては、市民から要望があった防音家屋冷暖房設備維持管理補助事業の内容を見直したことにより、満足度が増加したものと考えられます。</p> <p>済みません。今の説明のところでちょっと確認をしたいのですが、よろしいですか。</p> <p>今、政策ごとに評価についてご説明なさっていると思うのですが、6つ全部の政策を説明した後に我々は議論するのですか。それとも、政策を1個ずつ区切って議論していくのですか。その進め方だけ確認させてもらっていいですか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今、こちらとして考えておりましたのは、一応、政策06までご説明した上でご質問をいただければと思っておったのですが、どのように進めたらよいか、もしご意見がありましたら、会長のほうで聞いていただいて進めさせていただきたいと思うのですが、いかかでしょうか。</p> |
| <p>金子会長</p> | <p>政策06までまとめて説明していただいて、まとめて質問していただくというほうがいいかなと私は思うんですけど。というのは、結構、分野横断的というような部分もありますし、個別、個別で議論していくというよりも全体でご説明していただいて、全体を理解した上での質問という流れがいいかなと思うんですけども、よろしいでしょうか。</p> <p>では、そういう進め方でお願いいたします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>それでは、少しお時間をいただきまして、政策06までご説明をさせていただきたいと思えます。28ページのご説明をさせていただきました。</p> <p>続きまして、ページをめくっていただきまして、56ページをご覧ください。</p> <p>上から2つ目、施策06「防犯対策の充実」の、基本事業05「消費者トラブルの防止」の成果指標、消費者トラブルに遭った市民の割合です。こちらは、政策02で（低）となったものでございます。30年度のトラブルに遭った市民の割合は4.9%で、基準値と比較して1ポイント増加し、後期めざそう値を達成できませんでした。原因といたしましては、高齢者等の消費被害が増加傾向にあり、架空請求、通信販売、訪問販売等のトラブルの割合が高い傾向にありました。</p> <p>続いて、ページをめくっていただきまして、64ページをご覧ください。</p> <p>政策03「にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり」です。こちらが一番上、施策01「農林水産業の振興」の、基本事業01「担い手の育成・支援」の成果指標、認定農業者数です。こちらは、政策03で（低）となったものでございます。30年度の認定農業者数は342人で、基準値と比較して10人減少し、後</p> |

期めざそう値を達成できませんでした。原因といたしましては、認定農業者は5年ごとの更新を行っていますが、高齢化や後継者不足等により更新をしない方が増えているため、認定農業者数が減少傾向にあるためです。

ページをめくっていただきまして、71ページをご覧ください。

上から2つ目、施策02「商工業の振興」の、基本事業05「雇用の促進」の成果指標、就職セミナー開催回数です。こちらは、政策03で（達成）となったものでございます。30年度の就職セミナー等開催回数は6回で、基準値と比較して5回増加し、後期めざそう値を達成しました。開催状況といたしましては、ハローワーク・近隣市町と連携した合同就職会を1回、山武市内企業を対象としたさんむde就職セミナーを1回、近隣高等学校と企業の座談会が1回、民間企業との仕事説明会を2回のほか、新規として、空港関連企業合同説明会を1回開催するなど、多方面での就業支援を実施したことによるものです。

続いて、ページをめくっていただきまして、89ページをご覧ください。

こちらは、政策04「だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり」になります。89ページの上から2つ目、施策01「高齢者福祉の充実」の、基本事業03「介護予防の推進」の成果指標、高齢者として健康づくり項目の平均実践項目数です。こちらは、政策04で（低）となったものでございます。30年度の実績値は4.51項目で、基準値と比較して0.07項目減少し、後期めざそう値を達成できませんでした。計画期間中の指標値の動きは横ばいとなっています。ほとんどの方が、何かしらの健康づくりを実践しており、適正な睡眠時間や食生活・たばこを吸わないといった項目への取り組み意識が高く、運動習慣については低い状況となっています。

ページをめくっていただきまして、106ページをご覧ください。

上から2つ目、施策04「子育て支援」の、基本事業01「幼保機能の充実」の成果指標、就学前保育・教育に関する保護者の満足度です。こちらは政策04で（達成）となったものでございます。30年度の就学前保育・教育に関する保護者の満足度は94.7%で、基準値と比較して0.7ポイント増加し、後期めざそう値を達成しました。計画期間中を通して満足度は高い状況となっており、満足度の高い項目は、子供への接し方・日常の遊び、行事、食事・おやつ、安全・衛生対策です。各施設における保育教諭、保育士、幼稚園教諭等の園児への対応が保護者の満足度向上につながっているものと思われまます。

続いて、118ページをご覧ください。

政策05「生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり」です。上から3つ目と4つ目、施策01「学校教育の充実」の、基本事業02「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進の成果指標、授業が理解できると実感している児童・生徒の割合です。こちらは、政策05で（達成）となったものでございます。30年度の、授業が理解できると実感している児童の割合は94.3%、生徒の割合は85.2%となっており、計画初年度と比較して、児童が6.3ポイント、生徒が6.2ポイント、それぞれ増加し、後期めざそう値を達成しています。

達成の要因といたしましては、教員の指導力向上を図るための研修を実施し、授業力をアップすることを重点に取り組んだ結果、わかりやすい授業を実施することに結びついたものと考えます。

ページをめくっていただきまして、143 ページをご覧ください。

上から2つ目、施策05「人権尊重のまちづくり」の成果指標で、あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合です。こちらは、政策05で（低）となったものでございます。30年度の、あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合は21.8%で、基準値と比較して5.4ポイント減少し、後期めざそう値を達成できませんでした。原因といたしましては、社会全体で男女共同参画が進む中で、男女共同参画の意識啓発が浸透し、これまでと同様の状況では満たされず、さらなる男女共同参画を推進する必要があると考える方が増えたことが原因と考えられます。

続いて、ページをめくっていただきまして、149 ページをご覧ください。最後の政策06に移ります。

政策06「市民と行政が協働してつくるまちづくり」です。一番上、施策01「協働と交流によるまちづくり」の成果指標で、市民活動（地域活動）に参加している市民の割合です。こちらは、政策06で（低）となったものでございます。30年度の、市民活動（地域活動）に参加している市民の割合は37.2%で、基準値と比較して0.9ポイント減少し、後期めざそう値を達成できませんでした。原因といたしましては、市民活動が全体的に周知されていないことが原因と考えられますが、市内では、これまで3つのまちづくり協議会が発足し、市民活動に興味のある方も少しずつ増加しているものと思われま

ページをめくっていただきまして、164 ページをご覧ください。

上から2つ目、施策03「計画的・効率的な行財政運営」の基本事業04「財源の確保」の成果指標、市税収納率です。こちらは、政策06で（達成）となったものでございます。30年度の市税収納率は97.70%で、基準値と比較して2.0ポイント向上し、後期めざそう値を達成しました。市税収納率については、市県民税を特別徴収に切りかえた事業者の増加や、口座振替の推進等の納付環境拡大の周知、文書催告の強化及び分割納付者への履行監視に努めることにより、向上したものと考えております。

以上が、6政策の各政策において、（達成）及び（低）となった主なものとなります。

続いて、もう一つ、右上に「参考1」と書いてあります「山武市総合計画後期基本計画の達成状況[令和元年8月現在]」という、A4横1枚紙の資料をごらんください。

こちらは総合計画の、後期基本計画の6政策にあります29の施策に設定してある55の指標、さらにその下の、120の基本事業に設定してある239指標の目標達成状況を一覧に示したものでございます。表をご覧くださいと、左側から、政策名、そして政策ごとに施策、基本事業の2段書きとなっております

て、それぞれの指標数と30年度の目標達成度、達成率、右側には29年度の達成度、達成率を記載しています。達成度の欄の「—」となっているところについては、指標値が取得できないものになっておりまして、30年度のところで「—」となっているものについては、現時点で指標値がまだ取得できていないものも含んでおります。

表の一番下の合計のところをご覧くださいますと、30年度の施策の成果指標で、達成となったものは15指標で、達成率は27.3%です。その下段、基本事業の成果指標については、達成が100指標、達成率は41.8%というふうになっています。一番下の欄外のところですが、目標達成数を前年度と比較してみますと、施策は、29年度の16指標に対しまして30年度は15指標で1指標の減少となっております。一方、基本事業では、29年度の86指標に対しまして30年度は100指標となり、14指標増加しています。

計画最終年度となりまして、指標値の向上により達成となったものも基本事業では増えましたが、全体の達成率としては、施策、基本事業ともに低い状況というふうになっております。

本年4月からスタートした第2次総合計画では、施策体系を見直すとともに、新たに重点分野を設定いたしまして、メリハリのある行政運営により、総合計画の実現に向けて、市民の皆様とともに取り組んでまいりたいと考えてございます。

説明としては以上となります。

なお、本日ご説明をさせていただきました、先ほどの分厚い資料にございました平成30年度の評価結果につきましては、今後、最終的な取りまとめをいたしまして、まちづくり報告書としてホームページ等で公開をする予定でございます。

若干お時間が長くなりましたが、説明は以上となります。よろしく願いいたします。

岩澤係長、ありがとうございました。

事務局から、資料に基づき、(1)山武市総合計画の進行管理について説明がありました。こちらは、後期基本計画として6年間計画を進めてきた結果についての報告があったところです。その結果を踏まえまして、今後は第2次総合計画の成果指標、成果結果の向上を図っていただくことになると思います。

ご質問を中心に、何か確認したい事柄がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いしたいと思います。政策01から06まで全部説明をしていただいたので、こういったことでも構いませんので挙手をさせていただいて、ご質問にて確認されたいことをお願いしたいと思います。どなたからでも結構です。

では、岩田委員をお願いします。

ご説明ありがとうございました。

金子会長

岩田委員

| | |
|------|--|
| 事務局 | <p>ほんとうに基本的なことなんですけれども、成果指標が満足度というのが非常に多いんですね。多分、地域住民の満足度の意識というものをデータとされていると思うのですが、それぞれの部署でいろいろなデータをとられると思うんですけれども、基本的には、市民に対するアンケート調査等を実施した結果ということによろしいでしょうか。</p> <p>こちら、総合計画の中で指標としております中で、満足度としているものについては、主に「まちづくりアンケート」というものを毎年実施してございまして、無作為に選んだ市民 3,000 人の方に対して「まちづくりアンケート」を送付いたしまして、ご回答いただいたものを成果指標として資料にしているところでございます。</p> |
| 岩田委員 | <p>そのデータが、3,000 人に配布して、回収率とか回収の年代層、学校教育のところでの未回答等が児童生徒の中にもあるかなと思いますし、高齢者の方、あるいは母子、お母さん、いろいろな世代に質問が分かれているかと思うんですけれども、まず、回収率がどの程度であるかということと、それぞれの評価指標に対して、その回収率が妥当な数値になっていらっしゃるかどうか。それによって、めざそう値に対する実績値というのがほんとうにそうであったかどうかという部分で、問題点が見え隠れするのではないかなというふうに思いますので、ちょっと教えていただけたらありがたいです。</p> |
| 事務局 | <p>まず、回収率でございますが、本年度の 4 月に発送いたしまして、4 月、5 月で実施したアンケートでございますと、3,000 通発送いたしまして、ご回答があったのが 1,147 件。回収率といたしましては、38.20%というふうになってございます。</p> <p>ご回答いただいている方の年代についてですが、高齢の方がやはり多い状況となっております。ご回答があった中で、10 代が 2.5%、20 代が 5.3%、30 代が 6.6%、40 代が 14.2%、50 代が 15.6%、60 代が 25.1%、70 代以上が 28.9%、無回答が 1.9%ございました。</p> |
| 岩田委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>大変失礼なんですけれど、そうすると、一番最初の 3 ページの、「暮らしを支える快適なまちづくり」の施策 01「道路網の整備・充実」の、成果指標①市道整備状況の満足度の 59.2%という数字は、この質問に対して約 60%程度の方が満足、やや満足というような形の回答をされていたと理解してよろしいでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>はい、そのとおりでございます。</p> |

| | |
|-----------------|---|
| <p>岩田委員</p> | <p>わかりました。</p> <p>では、例えばこの施策のところの満足度に対して、実際にはコメントのところで、原因として「基幹道路及び生活道路の整備は順調に進んでいます」ということなんですけれども、例えば都市計画の中で、平成30年度の道路整備計画というのは、基幹道路、あるいは生活道路では、どの地域に、どの程度の計画が年度の計画になっていっちゃって、本年度の実施率が、全体の道路整備計画の中では何%程度の実施がされた上、そういう状況の中での回答というふうに理解すればよろしいでしょうか。</p> <p>つまり、「順調に進んでいます」という「順調」が、聞いているほうはわからないです。どのような道路整備を実質、市としてされていて、それに対して住民の60%が満足されていたと理解できるかなとは思いますが、実際に市がやっている事業としては、道路整備はいかがだったんでしょうか。</p> |
| <p>小川都市建設部長</p> | <p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>こちらにつきましては、回答していただく方の感覚ではないかというふうに思いますので、具体的にこちらの計画に対して何%達成しているとなると、こちらの一方向的な数字になってしまうので、あくまでもアンケートをいただいた方の満足度ということで理解しているつもりでございます。</p> |
| <p>岩田委員</p> | <p>済みません。そうではなくて、市のほうの道路整備の実施、アンケートに答える前に、基幹道路の整備というのはどの程度の進捗というか、何をされたのかということをお教えいただくと。何をどのように行政が整備をしたことによって、住民はどの程度満足しているのか。例えば道路であったとすると、今年はそのあたりの整備をやりました、それに対して住民の満足度が上がったとなったら、地域住民は多分、そこで生活のしやすさにつながっていったと判断できるかもしれないですけど。多分、地域はたしか3つの区分、山武地域を海岸地域とか都市地域、林のほうの地域と3つに分けて、基幹道路と生活道路とを区分けして整備計画があったと思うんですね。ほかの資料でそういうものを目にするのですけれども。近々で結構ですので、道路整備計画がどういうふうにされたのか。</p> |
| <p>小川都市建設部長</p> | <p>詳細については、今、資料がございませんけれども、基幹道路としては避難道路とか大きい道路、住民から要望がございました道路要望を予算化して、予算の中ではある程度達成できていると思います。ただ、やむを得ない事情で達成できないものもございますが、道路計画としては、予算の範囲ではある程度達成できたのではないかと考えております。</p> |
| <p>岩田委員</p> | <p>基準値とかめざそう値は、どのような形で決めてあるのかをお教えいただきたいと思っております。</p> |

| | |
|---------|--|
| 事務局 | <p>基準値とめざそう値の設定の仕方ということでよろしいでしょうか。</p> <p>基準値につきましては、計画の開始する前年度か、指標によっては前々年度の数値です。計画初年度から見て、前年度か前々年度の数値を基準値というふうにしております。</p> <p>めざそう値については、基準値から事業の計画期間、進捗したときにどのぐらいを目標として設定するかというところで、事業担当課と企画政策課のほうでヒアリングと調整をした結果で設定をしております。その結果を、総合計画審議会にお諮りをいたしまして、承認をいただいて、計画として策定をしているところでございます。</p> |
| 金子会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>では、ほかにごございましたら。</p> <p>小川委員、お願いします。</p> |
| 小川（真）委員 | <p>分厚いほうの資料ですが、山武市総合計画後期基本計画の指標の意味について確認したいんですけど、政策 06「市民と行政が協働してつくるまちづくり」の 148 ページの基本事業の成果指標で、03「市民活動支援施設の利用者数（人）」で、成果があって、平成 29 年実績、平成 30 年実績、対前年度（低下）というふうにあるんですけど、これは何をもちって（低下）になったのかを確認させてください。明らかに、平成 29 年と平成 30 年と比べたら増えているし、基準値と比べても、めざそう値と比較しても実績値は増えているのに、どうしてこれは（低下）というふうになっているのか、誤植ではないのかなと個人的には思うんですけど、確認させてください。</p> |
| 事務局 | <p>こちらについては、ご指摘のとおり記載の誤りとなります。誤りとなった原因といたしましては、当初、人数に算定する施設に漏れがあったため（低下）としていたのですが、その後、算定する施設を追加いたしまして、利用者が増えたことで今のような数字になっています。対前年度のところの（低下）は誤りということになります。申しわけございません。</p> |
| 金子会長 | <p>ほかにごございますでしょうか。</p> <p>新しく委員になられて初めての参加の方も、ご質問がございましたら遠慮なくお願いします。</p> <p>では小山委員、お願いします。</p> |
| 小山委員 | <p>遅くなりまして、申しわけございません。</p> <p>参考資料 1 の、04「だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり」の中の施策の成果指標が 11 ありますが、29 年度は「達成」が 5 あって、30 年</p> |

| | |
|----------|---|
| | <p>度は3に下がっております。事前にいただいた資料を全部読めばわかると思うのですが、申しわけございません、教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>29年度「達成」の5から、30年度「達成」ではなくなったものということでよろしいでしょうか。</p> |
| 小山委員 | <p>はい。</p> |
| 事務局 | <p>30年度に「達成」ではなくなったものについては、先ほどの分厚い資料の87ページが一番下、介護保険サービスの満足度の30年度のめざそう値が25.4%となっておりまして、29年度の実績値が26.2%で「達成」であったものが、30年度は24.3となりまして、「達成」ではなくなり（中）という評価になったものでございます。</p> <p>もう一つが、資料の99ページの真ん中、上から2段目、「生活習慣病死亡率」。こちらについては、〈状況〉の欄にあるのですけれども、11月以降に成果指標値が公表されるため、現在、まだ評価がでておりませんので、「一」のところの1というふうになっているものがこれに当たるもので、その分、現時点としては「達成」が1つ減っているということになります。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 金子会長 | <p>ほかはございますか。</p> <p>では小川委員、お願いします。</p> |
| 小川（真）委員 | <p>104ページです。政策04「だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり」の施策04「子育ての支援」なのですが、基本事業の成果指標04「児童虐待通告件数（件）」のところで、成果がありまして、実績が平成29年と比べて増えていると。これは、（向上）で晴れのマークがついているのですけれども、どういうふうに解釈すればいいのですか。虐待の通告件数が増えてきたことは、喜ばしいことなのですか。これは理解に苦しむので、説明していただけるとありがたいです。</p> |
| 金子会長 | <p>去年も、似たような質問があったんですけどもね。</p> <p>では保健福祉部長、お願いします。</p> |
| 小川保健福祉部長 | <p>保健福祉部長の小川と申します。</p> <p>ご指摘のとおり、どちらが増えたらいいのか、減らすべきなのかというのは確かにございます。昨年度、家庭児童相談室という組織を新たに立ち上げまして、きめ細かく市民からの意見、通報等をとるようになりました。今、人員等も増員したところでございます。相談件数から言いますと、29年は1,600件だ</p> |

| | |
|-----------------|---|
| <p>小川（真）委員</p> | <p>ったものが、30年度については2,670件近くまで増加してございます。そういう意味で、こちらとしてはなるべく虐待、いじめもそうなのですが、細かいところ、小さいところから早めに把握して、対処していくべきだと思ひまして、こういう指標として報告させていただいております。</p> <p>きめ細やかに対応したことで件数が増えて、事細かに情報が集まってきたと。それで、以前と比較した場合に深刻になっているのか。それとも、それはそこまで、軽微な話だよねという程度なのか、印象で構わないので教えてほしいなというふうに思ひます。山武市の、人権尊重とあるのですが、教育現場との兼ね合い等もあるので、その辺はどういうふうな実態なのかを教えていただけると助かります。</p> |
| <p>小川保健福祉部長</p> | <p>件数的に申し上げますと、28年が93件、29年が62件、そして30年度が91件という状況でございます。内訳としましては、身体的虐待が33件、心理的虐待が27件、ネグレクトが31件という状況でございます。野田市等の事件が発生した中で、深刻な状況になっているのかということ、昨年、一昨年と状況的にはそれほど変わらないのかなという感じにはなります。結果的にはですが。</p> |
| <p>小川（真）委員</p> | <p>おそらくそれは、次のページの基本事業の04「措置件数」と突き合わせてみればわかるという意味なのですよね。</p> |
| <p>小川保健福祉部長</p> | <p>そうですね。</p> |
| <p>小川（真）委員</p> | <p>行政が、措置という形で介入せざるを得なかったものが、実績値でいうと1件だったと。だから、ここに出ている件数の伸びというのは、今、ちょっと注視しておきましょうねというような段階という理解でいいのかなというふうに思ひました。</p> <p>ありがとうございます。</p> |
| <p>金子会長</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>では、あと一つ、岩田委員、お願いします。</p> |
| <p>岩田委員</p> | <p>子育てのところは、かなり大事な課題かなと思ひます。先ほどの、「だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり」の「子育て支援」の、「幼保機能の充実」のところでは、定員充足率はめざそう値に満たない。ですが、今のところ、例えば保育所・幼稚園に入園予定といった、入園が必要な子供さんの数と、それぞれの幼保の機能の定員数はバランスがいいのかどうか。100%預けられるにもかかわらず、充足率67.9%なのか。あるいは山武市の子供さんの数に対して、今は逆に定員に空きがあつて、この数字は多分なかなか上がつてこ</p> |

| | |
|-----------------|--|
| <p>小川保健福祉部長</p> | <p>ないのだろうというふうなお考えなのか。ある意味では、少ない子育てを充実して、相談をしている延べ件数も増えていて、とてもいい環境なのではないかなと思うんですけど、箱物として定員があるからそのままいいのかという、これは財政にもかかわってきますので、その辺のご見解をお伺いしたいのですが、</p> <p>まず、定員数でございますが、この場合は分母が認可定員、分子が園児数ということになります。園児数は、1,036人でございます。分母のほうは、1,522名となっております。</p> <p>ご承知のとおり、山武市は深刻な少子化が進んでおまして、施設のわりに子供たちが少ないというような現状でございます。したがって、本年度は67.9%、約3分の1が空いているという状況でございます。昨年度はこういう状況だったのですが、本年度に入りまして、むつみのおか幼稚園という幼稚園を1つ閉鎖してございます。こちらが120の定員数ですので、来年におきましては、分母からこの120が削れるというような状況になります。したがって、来年度は74%ぐらいかなと思っています。</p> <p>待機児童でございますが、4月1日、年度当初におきましては0人でございます。ただ、年度の途中で新たに0歳～1歳で入りたいと希望される方がいらっしゃいます。そちらについては、なかなか難しい状況だと考えております。今現在、待機している方は8名います。</p> |
| <p>岩田委員</p> | <p>居住しているところと保育園・幼稚園との距離というのがあって、あとはお勤めとの関係で、なかなか希望する園には、その8名の方はまだマッチングがうまくいっていないということなのですね。</p> <p>同じページなのですが、指標②の「子育て相談の周知度」のところは、めざそう値にまだちょっと達していないということになっているのですが、一方で、子育ての相談延べ件数は増えていると。周知度のところで、今、ホームページや窓口でやっていらっしゃるんですけども、今後は、例えば、妊娠がわかったときに母子手帳の交付窓口だとか、あるいは病院やクリニックでの出産後、退院時に母子手帳をお渡しするときに、育児の相談とかがありましたらこの後はこういう窓口のところで接触するような場面があったら、窓口を開いていますよというだけではなくて、できればそういうきめ細やかなPR活動をしていただければと。このあたりを見てきて、その後、いい形の支援につながっていくのではないかなというふうに思いますので、ご検討いただけたらと思います。</p> |
| <p>小川保健福祉部長</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>子育て支援は、出生時には「はびねす」という子育ての包括支援センターを、保健センターの3階に設けております。その段階で、新生児の97%の方がこち</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>金子会長</p> | <p>らに訪問しているという現状でございます。その際に、先生のご指摘のとおり、きっかけづくりになりますので、来年度予算の話にはなってしまうんですけど、その際にアプリ等を配るような形にして、今後、継続性を持たせる中で、子育て情報や母子手帳等を使っていたいただければと考えているところです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>まだまだ質問がある方がいらっしゃるかもしれませんが、時間の都合上、議事を先に進めさせていただきたいと思います。</p> <p>このほかにご質問等がある場合には、別途事務局でお受けさせていただきますので、申しわけございませんが、ご了承願いたいと思います。</p> <p>では続きまして、(2) その他に移らせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>それでは、私、中村から説明させていただきたいと思います。</p> <p>今回、新たに委員になられた方が9名、約半分いらっしゃるということで、総合計画を初めて見る方が多いかと思っておりますので、ここで少しお時間をいただきまして、ざっくりではございますが、第2次総合計画の概要を説明させていただければと思います。</p> <p>それでは、先ほども使いました青い冊子の6ページを、恐縮ですが開いていただきたいと思います。</p> <p>第一章「総合計画策定の概要」というところをご覧くださいと思います。</p> <p>1の「策定の趣旨」でございますが、総合計画とは、地域づくりのためのさまざまな施策をバランスよく、効率的に進めていくための基本的な指針でありまして、政策及び施策を体系化した最上位計画であるというものでございます。その後、平成23年5月に、地方自治法の一部の改正がございまして、基本構想の策定義務というものはなくなりましたが、総合計画は従来から総合的かつ計画的な行政の運営を図るための指針であるとともに、市民にまちづくりの長期的な展望を示すものでありますので、本市では、平成29年6月に「山武市総合計画条例」を定めまして、これに基づいて策定を行っているところでございます。加えまして、市全体の総意が反映されたものとするため、まちづくりのビジョンを示す基本構想については、市議会の議決を得るとしております。</p> <p>また、策定の基本的な姿勢としまして、1つ目に、社会情勢の急激な変化に対応するため、計画期間を短縮し、定期的な見直しを行うことで、柔軟で実行性の高い計画。2つ目に、施策や基本事業の目的、目標を具体的に定めて、行政評価を活用し、わかりやすい計画とすること。3つ目に、限られた財源を効果的に配分する選択と集中を図りながら、重点的に取り組むべき分野とその目標を定める計画にすることとしております。</p> <p>次のページ、2の「計画の構成と期間」をご覧くださいと思います。総合計画は、市の最上位計画として、「基本構想・基本計画・実施計画」から構成</p> |

されております。基本構想は、地域的特定、市勢をあらわす指標を用いながら、まちづくりの普遍的な方向性を示します。期間は4年間でございます。

また、基本計画は、基本構想を踏まえまして、中期的なまちづくりの方針に基づく政策の方向性、政策を実現するために、成果指標を用いながら重点的に取り組むべき分野を示します。計画期間を、市長任期と連動させるため4年間としております。実施計画は、基本計画で定める重点的に取り組むべき分野の推進を中心に、年度別・事業別に分類された事業計画と財政計画とで構成されております。計画期間は3年間を基本としますが、1年ごとに見直しを行っていきます。

次に、基本構想につきまして説明させていただきたいと思っております。ページは、27ページから33ページにかけます。ずっと飛んで、28ページを見ていただきたいと思っております。

基本構想の、1の「基本構想の考え方」をご覧ください。基本構想は、山武市のまちづくりの普遍的な方向性を示すものでございまして、まちづくりの将来展望を示し、それに基づきまして基本計画、または実施計画を策定しています。また、市勢を示す「まちづくり指標」を設定いたしまして、まちづくりの状況を把握できるようにしております。

続きまして、2の「基本構想」のほうを見ていただきたいと思っております。基本構想は、期間を4年間としますが、一定の普遍性を持たせるものとして、長期的な視野に立ったまちづくりの将来展望を3つ掲げてございます。1つ目は、海岸、田園、丘陵といった豊かな自然環境を生かしたまちづくり。2つ目は、成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり。3つ目は、将来にわたって持続可能で魅力あるまちづくりでございます。

次のページをご覧ください。

3の「基本構想の状況を示すまちづくり指標」。これでは、まち全体の市勢に示す指標を8つ設定してございます。①～③は人口にかかわるもの。④、⑤は経済にかかわるものを掲げております。⑥は定住促進。⑦は、シティセールスの状況をはかる指標としております。最後の⑧は、市の施策全体の満足度をはかる指標として位置づけてございます。

ページをめくっていただきまして、30ページをご覧ください。と思っております。

こちらには、4の「山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンを踏まえた展開」といたしまして、平成27年度に策定しました地方創生戦略で行った、2060年までの長期人口推移を掲載してございます。

31ページ目からは、5の「土地利用構想」でございます。本市の持つ歴史的、自然的、社会的特性を踏まえて、市を大きく、「丘陵価値創造ゾーン・市街地ゾーン・田園価値創造ゾーン・海浜レクリエーションゾーン」の4つのゾーンに区分し、恵まれた自然環境と調和のとれた秩序あるまちづくりに向けて、効率的な土地利用の促進に努めております。32ページには土地利用の構想図、33

ページには、土地利用構想図に主要施設を配置したものを掲載させていただいております。

続いて、35 ページからは「基本計画」になります。

ページをおめくりいただいて、36 ページ、第1章の「基本計画の考え方」をご覧くださいと思います。

1の「基本計画の考え方」では、計画期間を、市長の施政方針との一体性を踏まえ、市長任期と連動した4年間の計画期間といたしまして、計画期間は平成31年度から令和4年度にしております。

2の「政策体系と注力分野の設定」では、重点分野と行政改革分野について説明をしております。まず(1)の政策・施策体系の考え方では、基本計画の体系は6政策、24施策、108基本事業となっております。(2)重点分野の考え方については、各政策の推進に当たり、限られた経営資源の中でまちづくりの方針に基づいた計画を実現するため、今回、108の基本事業から、17の基本事業を重点分野として設定しております。メリハリのある経営資源の配分により、成果向上を目指すこととしております。また、重点分野の設定に当たっては、統計資料などから山武市の現状、時代潮流、まちづくりアンケートによる市民意識や市民ニーズ、また、今後の人口減少社会に向けた地方創生戦略、山武市<育てる力>集中創生戦略などを踏まえながら、全庁的に決定をいたしました。

次のページをご覧ください。

(3)の行政改革分野の考え方については、持続可能なまちづくりに向けて、これまで、山武市行政改革大綱において定めていた「経営型・減量型の改革」、「質の向上に向けた改革」を引き続き推進していきます。また、「市民サービスの視点」、「行政経営の視点」、「健全財政の視点」の3つの視点による取り組みを政策体系の基本事業単位に設定いたしまして、行政改革として取り組んでいくものでございます。今回の基本計画期間では、11の基本事業を設定しております。下段には、政策体系と注力分野を図で示しております。

ページをめくっていただいて、38 ページ、39 ページをご覧ください。

ここには、一覧により政策体系と注力分野を記載しております。重点分野、行政改革分野については、それぞれ該当する基本事業に黒丸をつけてございます。

また、ページをめくっていただきまして、40 ページをごらんください。

4の「重点分野の概要」として、17基本事業について、選定の視点と取り組み内容を記載してございます。なお、選定の視点の考え方については、43 ページ下段に考え方の説明を載せてございますので、ご覧くださいと思います。

成長戦略(短期)は、基本計画期間において、何らかの成果創出や先進的な取り組みを推進するもの。成長戦略(長期)は、中長期的での成果創出を目指して、基本計画期間中に着手するもの。人口減少対策は、高齢化や人口減少に対応した持続的なまちづくりのために、課題解決に向けて集中的な取り組みを

行うものとしております。

ページをめくっていただきまして、44 ページをご覧ください。

第2章「政策別計画」となります。このページは、政策別計画の見方のページとなっております。各項目の説明をしております。説明については、省略させていただきます。

ただし、45 ページの下段を見ていただきたいと思います。「めざそう値を、次の考え方に基づいて設定しています」というところです。重点分野については、政策的に成果を向上させることを目指しまして、重点的な予算確保や既存事業の見直しによる改善、新たな事業展開を図るため、高い水準で目標値を設定しております。一方で、通常事業については、選択と集中の観点から、法令及び安全面からの対応等を除き、現在の事業内容により、維持向上を図る水準で目標値を設定しております。

続く 46 ページ以降が、各施策別のページとなっております。ここの説明については、割愛させていただきたいと思います。

第2次総合計画の進行管理のために、全施策、全基本事業に対して成果指標を設定いたしまして、計画最終年度の目標を決めた上で、どれだけ進展があったのか、数字を使いながらお示ししているというのが特徴となっております。ぜひご一読いただけますよう、お願いいたします。また、ご一読いただきましてご不明な点がございましたら、後日、事務局のほうまでご連絡いただければというふうに思います。

雑駁ではございますが、第2次総合計画の概要の説明は以上でございます。

金子会長

事務局から、資料に基づき、(2) その他について説明がありました。

今年度からの第2次総合計画の概要について、ご説明をいただいたところです。こちらは、昨年度までの審議会で議論を重ねて策定した計画となります。行政評価の考え方を引き続き取り入れた計画ですので、全ての施策、基本事業に指標を設定しております。今後は、この計画の目標を達成できるように事業を進めていただきたいと思います。

委員の皆様、第2次総合計画について、ご理解いただけたということでしょうか。

小川（真）委員

第2次山武市総合計画の実施に向けて、注文があります。

思っている以上に、近隣の自治体さんもまちづくりに尽力しておりますので、この計画を立てたときよりも魅力的なことも展開されておりますので、変化していく時代を見ながら、機動的な対応をつけ加えてもいいかと思えます。

それに関していうと、事例で挙げるのならば、最近知ったのですが、うちの学生から聞いた話なんですけど、どうも学生の中ではいすみ市が世界的な聖地らしいんですね。ちょっと話を聞いてみたら、先生、知らないんですかと。あそこは、カンヌ映画祭の「万引き家族」でロケーションの現場になったんだよ

と。あんなところが？ というような実感だったんですけども、ぜひとも山武には、ブルーフラッグをとった海岸もありますし、山武杉の山林もありましたし、地域資源がいっぱいあると思うんですね。映画のロケーションにもつながるような取り組みとかも検討していただければなというのが1つ目の注文です。

もう1つなのですが、先ほど平成30年度の、前回の後期基本計画を受けた施策の評価結果をずっと眺めていたんですけども、そのときの基本計画と、実際に取り組んだ基本事業が対応しているのかというところで、疑問を持ちました。この総合計画審議会の末席に加わってから、しばしば山武市にやってくるようになって、自分の教え子もいますので、現地に入っているいろいろと話を聞いているんですけども、現場での課題と、行政が提供している事業とのマッチングがちょっとうまくいっていないようなところもあるかと思います。ごく最近感じたのが、山武市では農林が基幹事業だと伺っていますので、農業と、特に畜産、養豚とか養鶏といったところの連携というものが、ほかの農業を基幹産業としている町と比べてちょっと物足りないなという感があるので、そういったところも踏み込んで考えてほしいなというふうに思います。だから、基本計画があったとあって、単年度ごとに出てくる事業は性質が異なっているかと思うんですけども、変化していく時代に合わせて少し修正を加えてもいいのではないかなというふうに思います。

以上でございます。

貴重なご意見、ありがとうございます。

では、終わりに近づいているんですけども、私から今日の感想のようなことを一言申し上げたいと思います。

今日は、子供の虐待とか若者の話とか、保健福祉部長が答える回数が多かったんですけども、話を伺っていて、私の中である話が頭に浮かびまして、それは古今和歌集の一節なんですけれども、こういう話があります。今、お父さん、お母さん、子供とおばあちゃんの4人暮らしで、ある日、お父さんと子供とおばあちゃんの3人で川に遊びにいったそうです。そうしたら、子供が溺れまして、お父さんが飛び込んで助けようとしたんですね。そうしたら、そのタイミングでおばあちゃんも溺れ出したそうなんです。そこで、とっさにお父さんはおばあちゃんを助けて、家に帰って、奥さんにおばあちゃんを助けてきたよと言ったら、何で子供を助けなかったのと奥さんにこっぴどく怒られたそうです。奥さんは、子供のほうがこれからの人生長いから、人生長い人を助けるのが当然でしょうと。そうしたら旦那さんのほうは、いや、おばあちゃんにお世話になった年数が長いから、お世話になった年数を基準にして考えるのが普通でしょうというふうに、奥さんと旦那さんで考える基準が違って、これからの人生の長さか、お世話になった長さかによって意思決定が変わってくるというお話なんですけれども、この話は現代的には何かというふうに考え

金子会長

たときに、結局、一遍に助けることはできない中で、これを行政の話で考えると、高齢者を対策するか、子育て支援をしっかりとしていくかという二者択一を迫られたときに、どちらに重きを置くかという中で、今日は子供に関する話が非常に多くて、先ほど、アンケートの回収率で子供のパーセントが非常に低いという話があって、子供とか若者というのは投票率も低くて、意見というのがなかなか反映されていない中で、どうやって行政に反映させていくのかという。先ほど、小川委員から、行政と現場でミスマッチという話がありましたけれども、若者の考えをどういうふうに政策に反映させていくのかということが、これから考えるポイントとしてあるかなというのは、伺っていた感想としてあります。

長時間、お世話になりましたけれども、皆様のご協力によりまして議事を進めることができましたので、これで議長の任を解かせていただきたいと思えます。長時間にわたり、ありがとうございました。

石橋総務部長

長時間にわたるご指摘、ありがとうございました。

最後に、次第7のその他になります。事務局から、今後の会議の予定についてご連絡をさせていただきます。

事務局

では、事務局から連絡をさせていただきます。

まず、今回の会議の開催ですけれども、こちらにつきましては、来年度の開催を予定しております。時期につきましては、今年度と同様の時期を想定しておりますが、状況に応じて調整をさせていただきますので、またご連絡をさせていただきます。

内容につきましては、第2次山武市総合計画の一年目の評価結果をご報告させていただきますと予定しております。なお、議事については、必要に応じて追加をさせていただきますと考えております。

それから、委員の皆様におかれましては、所属する団体等の状況に応じて、役員の改選等があるかと思えます。本日、委嘱状をお渡ししておりますので、委嘱期間の、役員改選によって残る期間については、次の役員になった方が委員になっていただくという形になりますので、その点、よろしく願いいたします。

事務局からは以上となります。

【8. 閉 会】

石橋総務部長

そのほかに、委員の皆様から何かございますか。ないようですので、本日の議事は全て終了となります。

それでは、以上を持ちまして、令和元年度第1回山武市総合計画審議会を閉会とさせていただきます。長時間にわたりまして、ありがとうございました。

【3時10分】